

研究実施のお知らせ

研究課題名：東日本大震災後のANCA関連血管炎の発症率特定のための多施設共同研究

研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日～令和5年8月31日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された既存情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2000年以降にANCA関連血管炎の診断がなされ当院にて治療を受けた患者さま

【研究の目的と意義】

ANCA（抗好中球細胞質抗体）関連血管炎はいまだに原因不明の全身性血管炎です。ご高齢の方が発症すると10人中1人が死亡する予後の悪い病気でもあります。最近我々は宮城県沿岸部石巻医療圏において東日本大震災後にANCA関連血管炎の発症率が上昇した、と研究報告を公表しました。想定される原因としては土埃やアスベストと言った大気中の成分とも言われております。仙台市内に位置する当院においても同様の事象が起こりうるのかにつき血管炎と震災との関連について考え、さらに今後の災害に備えていく必要があります。そこでこのたび当院におけるANCA関連血管炎の発症率についてカルテ上での実態調査およびカルテ上からの診療情報を解析することになりました。これにより仙台市立病院のANCA関連血管炎の診療実績と全国調査結果との比較が可能となります。

【研究の方法】

多施設の後ろ向き観察研究です。過去に記載された患者さまの診療録から必要な項目を抽出し、その背景要因を解析します。今後患者さまのご自宅を訪問したり質問票を送付したりといった介入は致しません。また各患者さまに対し研究費用を徴収すると言ったことは生じません。逆に、研究参加への謝礼も発生しません。

【研究に用いる試料・情報の種類】

過去に診療録に記録された診療情報のみを、研究に使用させていただきます。診療情報としてはおもに年齢、性別、既往歴、入院日、治療、死亡日時などになります。使用に際しては倫理指針等により個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

この研究は多施設共同研究として実施されます。

研究代表者：仙台市立病院 内科 部長 山本多恵

多施設共同研究代表機関 石巻赤十字病院（代表者：腎臓内科部長 中道崇）

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないこととお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場

合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院 内科

科部長 山本 多恵 （当院の研究責任者）

医長 竹内 陽一

仙台市太白区あすと長町一丁目 1 番 1 号

電話：022-308-7111（代表）